

平成 28 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 藏 本 健 二
(コード番号：6190 東証マザーズ)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 田 村 康 弘
管 理 部 長
(TEL.082-431-0016)

第三者割当増資の結果に関するお知らせ

平成28年2月15日及び平成28年3月2日開催の当社取締役会において決議いたしました当社普通株式61,500株の第三者割当による新株式発行(第三者割当増資)につきまして、割当先であるSMB C日興証券株式会社より当社普通株式61,500株の割当に応じる旨の通知がありましたので、お知らせいたします。

当社では、当社普通株式の東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う公募による新株式発行並びに引受人の買取引受による株式売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社を売出人として、当社普通株式61,500株の売出し(以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。)を行いました。

本第三者割当増資は、このオーバーアロットメントによる売出しに関連して、当社株主である三和商事株式会社より借入れた当社普通株式の返却を目的として、SMB C日興証券株式会社に対し行われるものです。

記

1. 募集株式の発行概要

(1) 発行株式数	当社普通株式	61,500株
(2) 払込金額	1株につき	金 1,530円
(3) 払込金額の総額		金 94,095,000円
(4) 割当価格	1株につき	金 2,208円
(5) 割当価格の総額		金 135,792,000円
(6) 増加する資本金及び資本準備金 に関する事項	増加する資本金 1株につき 増加する資本準備金 1株につき	金 1,104円 金 1,104円
(7) 割当先及び割当株式数	SMB C日興証券株式会社	61,500株
(8) 申込株数単位		100株
(9) 申込期日	平成28年3月25日(金曜日)	
(10) 払込期日	平成28年3月28日(月曜日)	

(注) 払込金額は会社法第199条第1項第2号所定の払込金額であり、割当先より払い込まれる金額は割当価格(東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴い発行した株式の募集並びに株式の売出しの引受価額と同額)となります。

2. 本第三者割当増資による発行済株式総数及び資本金の推移

現在の発行済株式総数	2,826,800株
(現在の資本金	金 2,161,290,625円)
増資による増加株式数	61,500株
(増加資本金	金 67,896,000円)
増資後発行済株式総数	2,888,300株
(増加後資本金	金 2,229,186,625円)

3. 手取金の使途

今回の第三者割当増資による手取概算額 135,316 千円につきましては、公募による募集株式発行による手取概算額 653,400 千円とともに、平成 28 年 3 月 10 日に公表した「訂正有価証券届出書」に記載のとおり、海外での売り上げ増加を図るための資金、設備資金及び社内体制強化に係る人員確保資金に充当する予定であり、具体的には以下に充当する予定であります。

米国子会社 (PhoenixBio USA Corporation) 営業拡大 (増員・事務所移転) のための資金として 87,000 千円 (平成 29 年 3 月期 20,690 千円、平成 30 年 3 月期 27,072 千円、平成 31 年 3 月期 39,238 千円)

PXB マウスを用いた実験用途の発展を目的として活動する米国コンソーシアム(他企業参加団体)の運営のための出資資金として 87,000 千円 (平成 29 年 3 月期 29,000 千円、平成 30 年 3 月期 29,000 千円、平成 31 年 3 月期 29,000 千円)

PXB マウスを用いた米国コンソーシアム(他企業参加団体)でのプロモーション費用 (PXB マウス提供費)として 276,000 千円 (平成 29 年 3 月期 92,000 千円、平成 30 年 3 月期 92,000 千円、平成 31 年 3 月期 92,000 千円)

上場後の当社の PXB マウス事業の拡大、社内体制の整備強化に係る人員増加による人員確保資金として 155,000 千円 (平成 29 年 3 月期 15,000 千円、平成 30 年 3 月期 40,000 千円、平成 31 年 3 月期 100,000 千円)

製薬会社や研究施設からの PXB マウスを用いた受託試験サービスにおける提供データのラインナップの充実や研究開発を進めていくために必要な実験機器類の購入資金、既存設備の更新資金として 160,000 千円 (平成 29 年 3 月期 40,000 千円、平成 30 年 3 月期 30,000 千円、平成 31 年 3 月期 90,000 千円)。実験機器類・既存設備としましては、以下のような内容を予定しております。

購入又は更新時期	金額	内容
平成 29 年 3 月期	20,000 千円	空調設備の更新
	20,000 千円	電気設備 (変圧器) の交換
平成 30 年 3 月期	30,000 千円	実験機器 (次世代シークエンサー) の更新
平成 31 年 3 月期	60,000 千円	実験機器 (質量分析器) の購入
	30,000 千円	非常用発電設備 (クリーンルーム電源) の設置

残額は財務体質改善のため、平成 29 年 3 月期の長期借入金返済原資の一部に充当する予定であります。

なお、実際の充当期間までは、安全性の高い金融商品等で運用していく予定です。

以 上